保健室

三島市立錦田小学校

養護教諭　土屋　愛

錦田小学校は明治六年に開校し、今年で142年という伝統ある学校です。本校は、三島市の南西側に位置し、学校の周りには住宅地や田んぼが広がっています。校舎からは富士山や箱根の山々を眺めることが出来ます。自然が豊富で四季折々の変化も富み、教育環境として恵まれています。児童数573名、19クラスの本校の子どもたちは明るく、人なつっこく、素直で思いやりのある子が多いです。その反面、基本的な生活習慣が身についていない子やスキンシップを求める子、「学び難さを抱える子」「傷つきやすい子」等の支援を要する子も見られます。

「心豊かなたくましい子」という学校教育目標をもとに、平成27年度重点目標は「自分の思いや考えを持ち、豊かに表現できる子」「めあてを持って学び続ける子」を掲げ、平成26・27年度、文部科学省や市の指定研究として「学ぶ意欲と確かな学力向上を目指す」研修に取り組んでいます。

保健指導に関しては生活づくり指導部に所属し、「正しい言葉遣いで優しい気持ちを表す子の育成」や「天気が良い日は外で遊ぶ子」の育成を目指す中で、保健室では「自分で健康管理ができる子」という目標を掲げました。基本的生活習慣が身についていない子には、毎月発行している保健だよりで、望ましい生活習慣の有り方を必ず記事にしています。発育測定時の保健指導では、時季や発達段階に応じた話を取り入れています。また、保健室への来室時に睡眠不足からくる体調不良を訴える児童も多いため、個別対応を重視しています。

学校保健委員会では、健康診断結果や保健室来室状況のほか、各クラスで行った睡眠・朝食・排便についての生活習慣調べの結果を保護者に伝えています。このように、児童だけでなく保護者に直接話題を投げかけることで、基本的生活習慣を身につけることを目指しているのですが、なかなか定着にはつながっていない子がいるのが現状です。

その他、毎朝クラスで行っている健康観察カードには、「はんかちチェック」の項目を作り、毎日チェックをしてもらっています。そして、児童保健委員会で週に1回、各クラスの集計をし、その結果を基に全校への呼びかけの放送をしています。

基本的生活習慣を身につけることで心身共に健康で学校が楽しいと感じられ、学校教育目標を達成できるよう、養護教諭として取り組んでいることは微々たることですが、「継続は力なり」で、これからも学校教育目標「心豊かなたくましい子」を目指し、生涯に渡って健康な人生を送れるよう指導していきたいと考えています。

伊豆市立天城中学校

養護教諭　浅田美由紀

天城中学校の学区は、旧天城湯ヶ島町を基盤とし、天城山の北側、狩野川の上流域の山間地区です。小説家井上靖先生が幼少年期を過ごしたことから、本校の校歌は先生の作です。また、先生が本校に寄稿された「ふるさと美し」の一説「克己」が本校の校訓となっています。校舎に向かう登り坂は「克己坂」と呼ばれ、そこでは、来客の車に向かって生徒は必ず立ち止まって一礼します。その「克己坂あいさつ」は本校の伝統であり、生徒の誇りです。

生徒は豊かな自然と素朴な地域の人の中で育ち、素直で真面目、優しく、行事や縦割り活動には協力して取り組む姿があります。反面、自分の思いや意見を自信を持って言えない生徒が多く、全体的に自己肯定感が低い傾向があります。一部、人間関係づくりが上手にできず、心身の不調という現れになる生徒もいます。

「こんなに良い子達なのに何故なんだろう？」という思いから、本校では、3年前から学校保健委員会のテーマを「心の健康について考えよう」として取り組んできました。昨年は生徒のアンケート結果をもとに、生徒健康委員会で課題を出し合い、「人の意見に反応しよう」など4つの提言としてまとめ、発表するとともに「自己表現の3つタイプ」の劇を行いました。さらに講師の先生とピア・サポート活動について体験しながら学びました。今年度は、生徒からの悩みに答えるというロールプレイを体験し、より深く友人関係について考える場になったようです。また、今年度から、月1回、朝15分間「心の時間」を始めました。養護教諭が全校放送でソーシャルスキルトレーニング等のエクササイズを指示し、各学級で実施、担任が振り返りをサポートします。

日常生活では、健康委員会が中心となり、学級の健康観察、衛生管理、給食の残量調べ、週末の歯磨きをしています。

生徒同士、または職員や地域の方に思いを伝え、認められるという経験を通し、自己肯定感が高まり、より豊かな人間関係を築いて欲しいと願い、保健室から投げかけや支援を続けていきたいと思っています。

上履きの持ち帰りの呼びかけ、季節に応じての啓発活動を継続して行っています。これらは、生徒の保健意識の向上に欠かせない活動となっていて、特に、給食残量ゼロや上履き持ち帰りはほとんどの生徒が協力し、昼休みは大勢の生徒が自主的に

げんきな事業所

社会福祉法人 信愛会 しんあい保育園

沼津市下香貫宮原二七六―一

しんあい保育園は社会福祉法人 信愛会が運営する4つ目の保育園として平成23年4月に開園しました。香貫山の麓にあり、沼津港から爽やかな浜風を受ける環境に恵まれた保育園です。閑静な住宅街の中にありますが、ご近所の方々のご理解をいただき、子どもたちも日々元気に過ごしています。

信愛会では「認定こども園あゆのさと」に続き、「元気な事業所」の紹介が2事業所目となります。当法人には元気な事業所が多いと認めていただいたと勝手に喜んでおります。「あゆのさと」原稿では法人の取組みについても紹介がありましたので、今回は本園の紹介とさせていただきます。

本園の定員は0歳児クラスが14名、1歳児クラスが18名、2歳児クラスと3歳児クラスが20名、4歳児クラスと5歳児クラスが24名の合計120名の定員となっています。

その他に、延長保育や障がい児保育、一時預かり事業、地域子育て支援センター事業等行なっています。また、本園独自に園庭開放や離乳食体験等を行い、保育園に通ってくる家庭だけでなく、子育てをしている家庭を支援する取組を行っています。

本年の4月より子ども子育て支援新制度が始まり、養護と教育が一体となった取組みを更に進めることになりました。本園でも従来から行ってきた「コーナー遊び」「リトミック」「食育」に加え、外部の方を招いて「運動遊び」や「花育」等を行いいろいろな経験をしてもらいました。昨年度は年間延べ9,000名を超える利用がありました。子育ての苦労が楽しみに変わるように、子育て支援センターでは寛げる空間ができるように心掛けています。同時に、親子の思い出が少しでも増えるように、ハロウィンパーティーやクリスマス会等行事の工夫をしています。中でも、8月に行う夏祭りは多くの家庭の参加とともに、夏休み休暇中のお父さんがボランティアとして模擬店を手伝って下さり大変賑わいます。

さて、本園では子ども達が元気に保育園に通ってもらうことと同様に、職員にも楽しく元気に保育・仕事に取り組むことを目指して毎年目標を定めています。今年度の目標は「笑顔」です。子どもや保護者、職員同士等相手に笑顔を与えること、色々な相手から笑顔をもらうこと、自分が笑顔でいることを合言葉に笑顔の絶えない職場づくりを心掛けています。

これからも様々な子育てのニーズに対応して、保護者や地域の方から信頼される保育園を目指していきます。

末筆になりますが、静岡県予防医学協会様には定期健康診断やインフルエンザの予防接種等大変丁寧な対応に感謝申し上げます。

しんあい保育園の理念

私たちは、子どもの人権を守り、子どもらしさを受けとめ、ご家庭と共に子どもの育ちを支援していきます。

保育目標

1．思いやりのある子
2．よく遊ぶ子
3．自分で考えて行動できる子

保育の基本方針

1．ひとりひとりを大切に、子どもの思いを受けとめ、心を育てる保育を目指す
2．子どもも保護者も安心して保育園生活が送れるように安全な環境を用意する
3．保護者の思いを汲みながら家庭と一体になり子どもの健全な心身の発達を図る
4．地域における子育て支援の拠点となるような社会的役割を果たす